



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月27日

上場会社名 タツタ電線株式会社

上場取引所 東

コード番号 5809 URL <http://www.tatsuta.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 博仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 柴田 徹也

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	27,386	6.0	2,011	1.8	2,032	1.7	1,460	2.2
2020年3月期第2四半期	29,127	2.9	2,048	23.0	2,067	23.4	1,429	28.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,008百万円 (56.9%) 2020年3月期第2四半期 1,280百万円 (40.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	23.64	
2020年3月期第2四半期	23.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	55,646	45,592	81.9	737.95
2020年3月期	54,970	44,139	80.3	714.43

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 45,592百万円 2020年3月期 44,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		9.00		9.00	18.00
2021年3月期		9.00			
2021年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,800	4.1	3,200	15.4	3,200	18.3	2,300	16.1	37.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	70,156,394 株	2020年3月期	70,156,394 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	8,374,080 株	2020年3月期	8,373,920 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	61,782,383 株	2020年3月期2Q	61,782,940 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大幅に減少し、また、雇用情勢、設備投資等の各面で弱い動きが続くなど、個人消費、生産、輸出等の持ち直しの動き等は見えつつあるものの、総じて厳しい状況で推移しました。世界経済も同感染症の収束の目処が得られないことに加え、米中貿易摩擦問題も混迷を増しており、経済活動の再開による持ち直しが期待されつつあるものの、不透明かつ厳しい状況で推移しました。

資源価格については、原油価格は期初に一旦急落後上昇し、以降は概ね横ばいで推移しました。また、銅の国内建値は期初より上昇基調で推移しましたが、第2四半期連結累計期間の銅国内建値平均価格は前年同期を若干下回る水準となりました。

この間において、インフラ向け電線の需要は弱含みで推移し、機器用電線分野においては新型コロナウイルス感染症影響により厳しい需要状況が続きました。また、機能性フィルムの主要用途である携帯端末も同感染症の影響を受け需要が低迷しました。

こうした環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,386百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は2,011百万円（前年同期比1.8%減）、経常利益は2,032百万円（前年同期比1.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,460百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

<電線・ケーブル事業セグメント>

インフラ向け電線は新型コロナウイルス影響による国内の景気低迷により販売量が減少（前年同期比4.9%減）し、また機器用電線においても同影響のもと販売低迷が続いたことから売上高は16,399百万円（前年同期比9.6%減）となりましたが、営業利益は販売構成および銅価変動影響の改善等により266百万円（前年同期比47.5%増）となりました。

<電子材料事業セグメント>

当社主力製品である機能性フィルムは、携帯端末の需要が厳しい状況ではありましたが、前年同期を若干上回る販売量（前年同期比3.2%増）を確保し売上高は10,130百万円（前年同期比0.8%増）となりました。営業利益は開発費用の増等はありませんでしたがコストダウンによる吸収に努めた結果、概ね前年同期並みの2,128百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

<その他事業セグメント>

センサー、医療機器部材、環境分析の各事業は、新型コロナウイルス影響による需要減により、売上高は873百万円（前年同期比9.4%減）、営業損益は43百万円の損失（前年同期は68百万円の利益）となりました。

新型コロナウイルス感染症の経済への影響が不透明な状況の中、当社は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し従業員・社会の安全を確保するとともにお客様への供給責任を果たしてまいります。そのうえで、拡販およびコスト削減に努め収益を確保するとともに、関連する市場の状況を見極め需要回復期に備えてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ675百万円増加し、55,646百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が減少した一方で、短期貸付金、たな卸資産が増加したこと等によるものです。

負債の部は、前期末に比べ777百万円減少し、10,054百万円となりました。これは支払手形及び買掛金、未払金が減少したこと等によるものです。

純資産の部は、前期末に比べ1,452百万円増加し、45,592百万円となりました。これは配当支払による減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ1.6ポイント上昇し、81.9%となっております。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、1,369百万円となり、前期末に比べ93百万円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,024百万円、売上債権の減少1,173百万円、減価償却費の計上825百万円等の資金増加要因から、法人税等の支払額754百万円、たな卸資産の増加652百万円等の資金減少要因を差し引いた結果、2,444百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に短期貸付金増加1,052百万円、有形固定資産の取得による支出830百万円等の資金減少要因から、1,991百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額556百万円により、556百万円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期 通期累計期間 (2020年4月1日～2021年3月31日) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	51,700	3,000	3,000	2,100	33.99円
今回発表予想(B)	55,800	3,200	3,200	2,300	37.23円
増減額 (B-A)	4,100	200	200	200	3.24円
増減率 (%)	7.9%	6.7%	6.7%	9.5%	9.5%
(ご参考)前期実績	58,171	3,781	3,917	2,740	44.36円

(修正の理由)

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年5月13日に公表した通期連結業績予想時点の想定(以下「前回想定」)に対し、主に次の要因により増収増益となる見込みです。

電線・ケーブル事業セグメントにおきましては、売上高は銅価格が前回想定に比べ高い水準で推移すると見込んだこと等により増収となる見込みです。利益面では原材料価格の上昇により増収効果が相殺されるものの機器用電線製品の販売が前回想定よりも改善し増益となる見込みです。

電子材料事業セグメントにおきましては、主力製品である機能性フィルムの販売量が前回想定に対して改善することを主因に増収増益となる見込みです。

その他事業セグメントにおきましては、販売減を主因に減益となる見込みです。

なお、同業績予想につきましては、新型コロナウイルス問題による販売面での影響が本年度中は続くものと想定した前提に基づき策定したものです。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,462	1,369
受取手形及び売掛金	16,682	15,300
製品	2,416	2,408
仕掛品	4,609	5,031
原材料及び貯蔵品	897	1,131
短期貸付金	10,660	11,723
その他	339	768
貸倒引当金	△205	△11
流動資産合計	36,864	37,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,876	7,702
機械装置及び運搬具（純額）	2,562	2,471
工具、器具及び備品（純額）	371	355
土地	3,799	3,799
建設仮勘定	947	1,162
有形固定資産合計	15,556	15,492
無形固定資産		
ソフトウェア	143	124
ソフトウェア仮勘定	7	8
施設利用権	5	5
その他	8	6
無形固定資産合計	165	146
投資その他の資産		
投資有価証券	815	796
長期前払費用	23	17
繰延税金資産	1,433	1,260
その他	118	410
貸倒引当金	△7	△199
投資その他の資産合計	2,384	2,284
固定資産合計	18,106	17,922
資産合計	54,970	55,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,963	3,655
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払金	926	790
未払費用	1,493	1,359
未払法人税等	843	718
その他	721	586
流動負債合計	8,948	8,110
固定負債		
環境対策引当金	110	114
退職給付に係る負債	1,599	1,655
資産除去債務	62	62
繰延税金負債	0	1
その他	110	110
固定負債合計	1,883	1,944
負債合計	10,831	10,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,516	4,516
利益剰余金	36,183	37,088
自己株式	△2,458	△2,458
株主資本合計	44,918	45,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142	127
繰延ヘッジ損益	△308	214
為替換算調整勘定	△57	△61
退職給付に係る調整累計額	△555	△511
その他の包括利益累計額合計	△779	△231
純資産合計	44,139	45,592
負債純資産合計	54,970	55,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	29,127	27,386
売上原価	22,281	20,582
売上総利益	6,846	6,804
販売費及び一般管理費	4,797	4,792
営業利益	2,048	2,011
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	12	10
受取ロイヤリティー	8	10
その他	16	25
営業外収益合計	40	52
営業外費用		
支払利息	5	3
為替差損	13	21
その他	2	6
営業外費用合計	21	31
経常利益	2,067	2,032
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
受取保険金	59	-
特別利益合計	59	0
特別損失		
固定資産廃棄損	-	8
特別損失合計	-	8
税金等調整前四半期純利益	2,127	2,024
法人税、住民税及び事業税	676	635
法人税等調整額	21	△70
法人税等合計	698	564
四半期純利益	1,429	1,460
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,429	1,460

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,429	1,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△14
繰延ヘッジ損益	△158	523
為替換算調整勘定	△1	△3
退職給付に係る調整額	20	43
その他の包括利益合計	△148	548
四半期包括利益	1,280	2,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,280	2,008

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,127	2,024
減価償却費	868	825
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	104	119
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	-	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
受取利息及び受取配当金	△16	△16
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	-	△0
補助金収入	-	△8
受取保険金	△59	-
支払利息	5	3
固定資産廃棄損	0	11
売上債権の増減額 (△は増加)	1,128	1,173
たな卸資産の増減額 (△は増加)	373	△652
その他の資産の増減額 (△は増加)	17	△120
仕入債務の増減額 (△は減少)	530	△244
未払金の増減額 (△は減少)	△40	148
未払費用の増減額 (△は減少)	4	△133
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△44	△264
その他の負債の増減額 (△は減少)	△317	291
小計	4,684	3,159
利息及び配当金の受取額	16	14
利息の支払額	△5	△3
法人税等の支払額	△326	△754
補助金の受取額	-	28
保険金の受取額	59	-
災害損失の支払額	△50	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,377	2,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	△1
投資有価証券の売却による収入	-	1
有形固定資産の取得による支出	△1,102	△830
無形固定資産の取得による支出	△45	△8
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△2,902	△1,052
その他	△8	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,061	△1,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△494	△556
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△494	△556
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△169	△93
現金及び現金同等物の期首残高	1,118	1,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	949	1,369

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,131	10,046	28,177	949	29,127	-	29,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	14	14	△14	-
計	18,131	10,046	28,177	963	29,141	△14	29,127
セグメント利益	180	2,134	2,314	68	2,382	△333	2,048

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機器システム製品事業、光部品事業、環境分析事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△333百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△340百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,399	10,130	26,529	857	27,386	-	27,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	16	16	△16	-
計	16,399	10,130	26,529	873	27,403	△16	27,386
セグメント利益 又は損失(△)	266	2,128	2,394	△43	2,350	△339	2,011

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。なお、センサー&メディカル事業は、前第2四半期連結累計期間記載の機器システム製品事業、光部品事業を再編して表記したものです。

2 セグメント利益又は損失の調整額△339百万円は、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△345百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。